

# CONTENTS もくじ

## セクションⅠ：外科的コンセプト

- 1 歯槽骨頂の安定を確立するための外科的要因 21  
訳：飯田このみ
- 2 インプラントのデザインに関する要素 35  
訳：佐藤 瞳
- 3 インプラントの埋入深度 51  
訳：金子明日香
- 4 垂直的な軟組織の厚さ 61  
訳：松成彩絵
- 5 骨縁下インプラント埋入 85  
訳：安倍稔隆
- 6 歯槽堤の平坦化 101  
訳：佐藤 瞳
- 7 Tent-pole 法 109  
訳：安倍稔隆
- 8 垂直的な軟組織の増生 117  
訳：金子明日香
- 9 インプラント周囲の付着組織 135  
訳：飯田このみ
- 10 インプラント埋入における臨床的な推奨事項 145  
訳：松成淳一

## セクションⅡ：補綴的コンセプト

- 11 歯槽骨頂の安定を維持するための補綴的要因 155  
訳：長尾龍典
- 12 セメント固定式補綴装置への考慮 159  
訳：長尾龍典
- 13 セメント/スクリュー固定式補綴装置 183  
訳：新井聖範
- 14ブリッジにおけるチタンベースの使用法 201  
訳：新井聖範
- 15 アバットメントの選択肢 217  
訳：中島航輝
- 16 エマージェンスプロファイルの影響 229  
訳：中島航輝
- 17 補綴材料 241  
訳：今井 遊
- 18 歯肉縁下の材料 245  
訳：今井 遊
- 19 「ジルコニアなきジルコニア」補綴装置を回避するために 269  
訳：毛利国安
- 20 インプラント補綴において歯肉縁上領域に使用される材料 281  
訳：毛利国安

### 監訳



鈴木仙一 日本大学松戸歯学部 臨床教授  
中居伸行 長崎大学歯学部 臨床教授  
松成淳一 新宿西口歯科医院 (東京都) 院長  
脇田雅文 (医) みやび会 わきた歯科医院 (神奈川県) 理事長  
森本太一郎 (医) 口福会 森本歯科医院 (福岡県) 理事  
五十嵐 一 (医) 五十嵐歯科医院 (京都府) 理事長  
落合久彦 (医) 雄久会 (恵比寿・新宿・豊洲・田町) 理事長  
新井聖範 (医) artistico dental clinic (大阪府) 理事長

### 翻訳統括

安倍稔隆 (東京都勤務) / 中島航輝 (東京都開業) / 長尾龍典 (京都府開業) / 今井 遊 (福岡県開業) / 毛利国安 (東京都勤務) / 松成彩絵 (東京都勤務) / 飯田このみ (東京都勤務) / 佐藤 瞳 (東京都勤務) / 金子明日香 (東京都勤務) / 城下隆一 (京都府勤務) / 赤坂衣里 (京都府勤務)

### 翻訳

安倍稔隆 (東京都勤務) / 中島航輝 (東京都開業) / 長尾龍典 (京都府開業) / 今井 遊 (福岡県開業) / 毛利国安 (東京都勤務) / 松成彩絵 (東京都勤務) / 飯田このみ (東京都勤務) / 佐藤 瞳 (東京都勤務) / 金子明日香 (東京都勤務) / 城下隆一 (京都府勤務) / 赤坂衣里 (京都府勤務)

## 注文書 ゼロボーンロスコンセプト

モリタ商品コード:208040791

冊注文します。

●お名前	●貴院名	●ご指定歯科商店
●ご住所 (〒 )		
●TEL	●FAX	

支店・営業所

※ご記入いただいた個人情報は、弊社の新刊案内、講演会等の案内に利用させていただきます。  
※ご指定歯科商店がない場合は送料をいただき、代金引換宅配便でお送り致します。

2021-8

この世のインプラント治療から  
“骨吸収”をなくす決定書！

# ゼロボーンロスコンセプト

## ZERO BONE LOSS CONCEPTS



[著] Tomas Linkevicius

[監訳] 鈴木仙一  
中居伸行  
松成淳一

[翻訳統括] 脇田雅文  
森本太一郎  
五十嵐 一  
落合久彦  
新井聖範

[翻訳] 安倍稔隆 / 中島航輝 / 長尾龍典 /  
今井 遊 / 毛利国安 / 松成彩絵 /  
飯田このみ / 佐藤 瞳 / 金子明日香 /  
城下隆一 / 赤坂衣里

「自分が埋入し、上部構造を装着したインプラント周囲に“骨吸収”が起きた経験はありますか？ あなたはこのような“骨吸収”がなぜ起こるのを知りたくて、ここ（講演会・勉強会）にいるのですよね？」  
——本書冒頭の著者（Tomas Linkevicius 氏）のコメントである。本書は、この疑問に対する答えである「ゼロボーンロスコンセプト」すなわち骨吸収を起こさないためのプロトコールについて、科学と臨床を融合させた症例を基に解説していく。インプラント治療を行う歯科医師の必読書！



Tomas Linkevicius 氏

QUINTESSENCE PUBLISHING 日本

●サイズ:A4判変型 ●304ページ ●定価25,300円(本体23,000円+税10%)

クインテッセンス出版株式会社

〒113-0033 東京都文京区本郷3丁目2番6号 クイントハウスビル

TEL. 03-5842-2272 (営業) FAX. 03-5800-7592 https://www.quint-j.co.jp e-mail mb@quint-j.co.jp

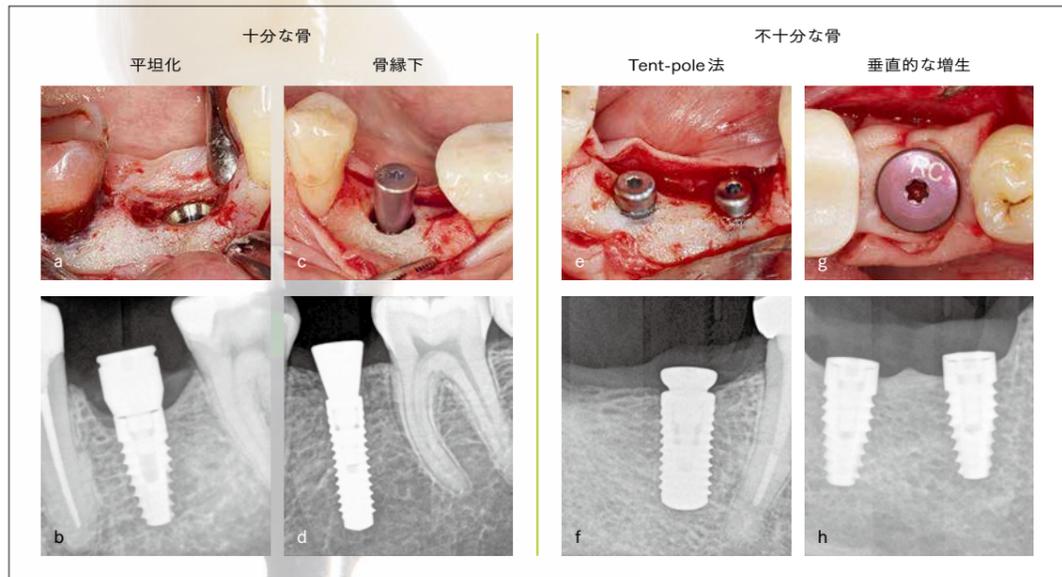


# ゼロボーンロスコンセプト

ZERO BONE LOSS CONCEPTS

## 外科的コンセプト

### Puišys と Linkevičius の増生法 (2015)



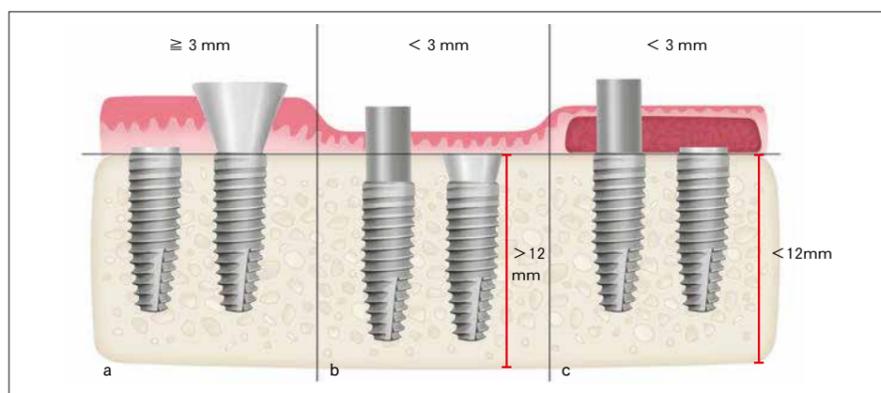
垂直的な組織増生のさまざまな方法。(a, b) 歯槽堤の平坦化 (訳者注: インプラント周囲の形成)。(c, d) インプラントの縁下埋入。(e, f) Tent-pole 法。(g, h) 垂直的な増生 (図 4-35 より)。

### 安全な骨縁下埋入

縁下に安全に埋入するには、インプラントがコニカルコネクションとプラットフォームスイッチング機構を備えている必要がある。他のタイプのインプラントは縁下埋入を行うと、リモデリングでなく吸収が起こる可能性がある (図 5-13 より)。



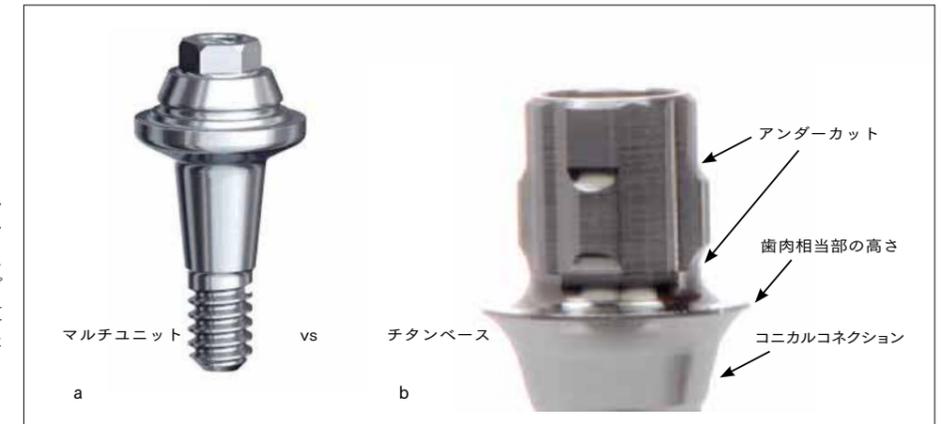
### Puišys と Linkevičius の術式



3つの異なる臨床状況において推奨されるプロトコルの要約図。(a) 十分な量の垂直的な軟組織の厚さが存在する (すなわち、3mm 以上)。(b) 垂直的な軟組織の厚さは 3 mm 未満であるが、解剖学的な構造物までの骨の高さは 12mm を超えている。(c) 垂直的な軟組織の厚さが 3mm 未満、骨の高さが 12mm 未満である (図 10-1 より)。

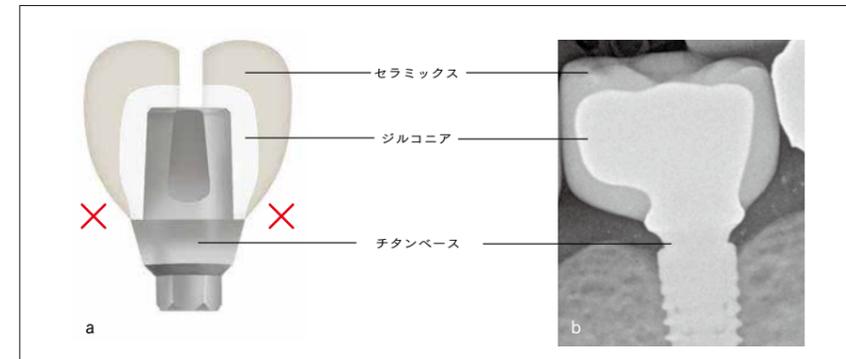
## 補綴的コンセプト

### スクリュー固定式補綴装置のマルチユニットアバットメント



(a) マルチユニットアバットメントは、インプラントとブリッジとの間の中間構造体として使用される。この方法は通常、非常に急なコニカル形状 (たとえば 6° 以下) を有するインプラントに適用され、このタイプの接合部では直接インプラントレベルの補綴が不可能となるためである。(b) エンゲージ部を切断したチタンベースの解説。コニカル部分には損傷がなく、これは特に重要となる (図 14-14 より)。

### 「ジルコニアなきジルコニア」コンセプト



(a, b) 「ジルコニアなきジルコニア」コンセプトの図説。歯肉縁下部分に前装用陶材があり、インプラント周囲組織に直接ジルコニアが接触していない (図 19-9 より)。

### 補綴的なゼロボーンロスコンセプトのすべて



ゼロボーンロスコンセプトの補綴学的側面の重要な特徴がこのインプラントブリッジから明らかである (図 20-19 より)。

「ゼロボーンロスコンセプト」すなわち「骨吸収を起こさないためのプロトコル」について、科学と臨床を融合させた症例と多数の文献を基に、本書では「外科的コンセプト」と「補綴的コンセプト」の2つのセクションにわけて、骨吸収の仕組みから骨吸収を起こさないさまざまな方法をいねいに解説している。